

バリアフリー委員会軌跡

1999年、本学に聴覚に障がいを持つ学生が入学し、その翌年に学生たちによる情報保障の取り組みが始まりました。2001年から「バリアフリー委員会」と名称を変え、教職員も含む新体制になりました。2009年度から、全学的組織「障がい学生支援会議」を設立し、体制が充実しました。2012年現在、聴覚に障がいを持つ学生にはノートやパソコンを使っての情報保障、四肢が不自由な学生には筆記代行や通学・移動介助など大学生活での支援を行っています。

2012年度学生代表挨拶

人文学部人間科学科 3年
清水愛理

こんにちは！2012年度バリアフリー委員会代表の清水愛理です。バリアフリー委員会では、障がいを抱える学生に対して様々な支援を行っています。

また、色々な行事を行っており、気軽に参加できますので、興味のある学生はぜひ一緒に活動しましょう！お待ちしております！

-----DATA(2011年度)-----

学生会員数：95名（2012年3月現在）

～情報保障～

利用学生：6名
 テイカー実数：前期36名、後期38名
 配置科目数：103科目
 （前期：53科目、後期：50科目）
 テイカー配置総コマ数：約1540コマ

～通学移動介助～

利用学生：3名
 支援学生実数：34名



世話人代表 新國三千代



教務課 井上寿枝

バリアフリー委員会は、学生・教職員なら“いつでも、誰でも参加できる組織”です。設立以来、障がいを抱える学生と支援学生たちが中心となり、教職員と協力して、誰にとっても学びやすい環境づくりをめざして、地道な活動を続けてきました。

多くの学生のみなさんの参加をお待ちしています。

大学へのアクセス JR大森駅から 徒歩10分



バリアフリー委員会メールアドレス
 sgu_bfc@sgu.ac.jp
 QRコードはこちら



バリアフリー委員会Webページ

<http://www.sgu.ac.jp/bfc/>

制作 バリアフリー委員会広報部

札幌学院大学 バリアフリー委員会

共に学び、
 共に取り組み、
 共に歩く！



発行日 2012年4月